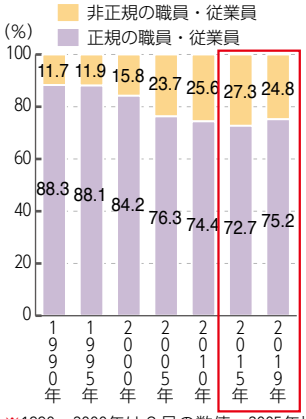
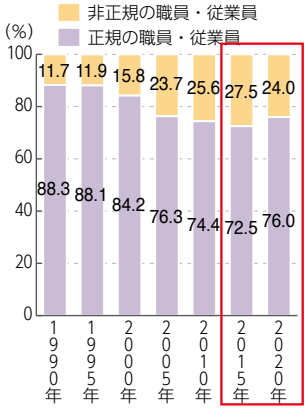
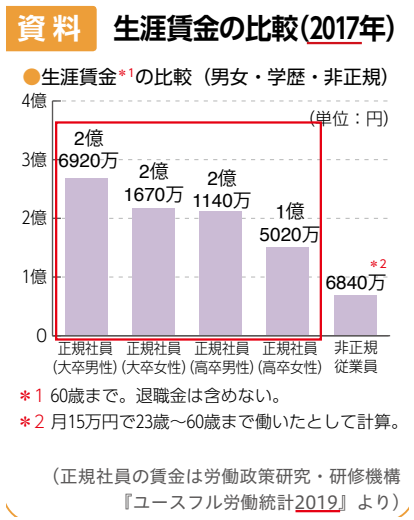
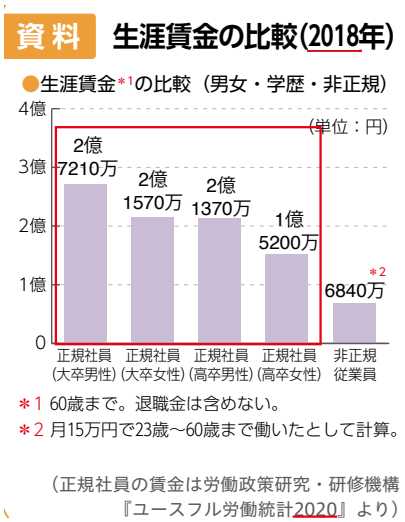
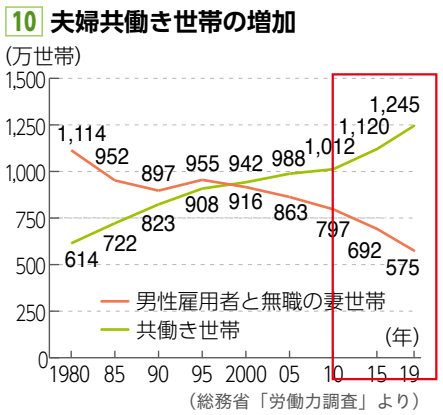
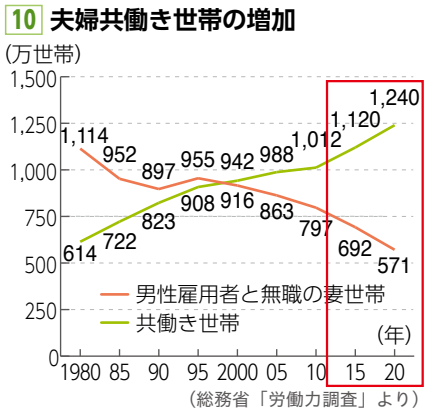
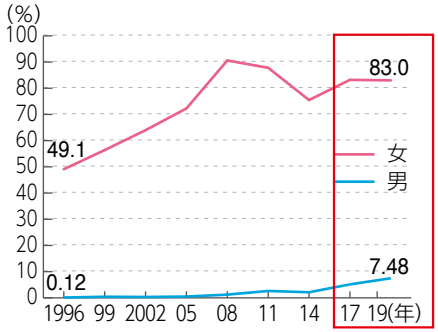
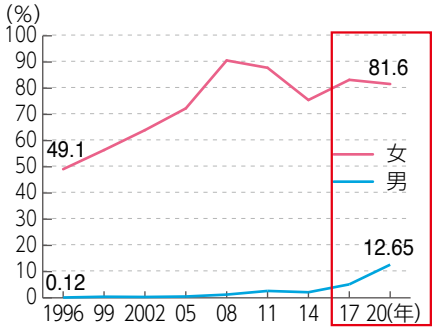
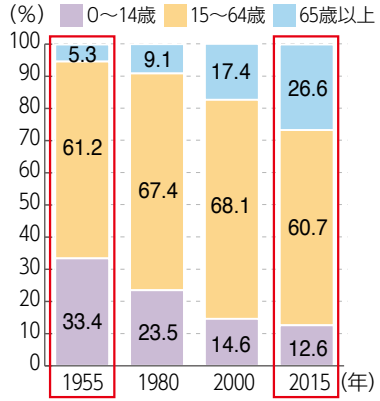
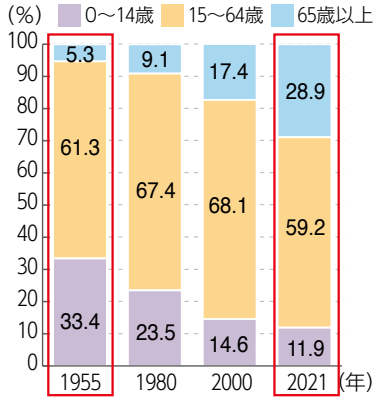
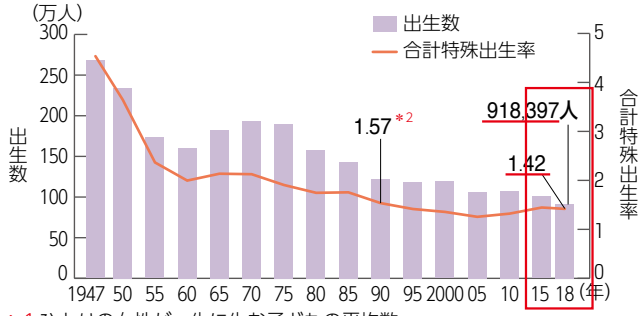
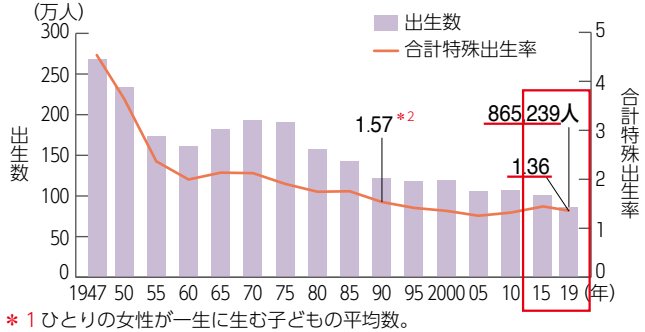
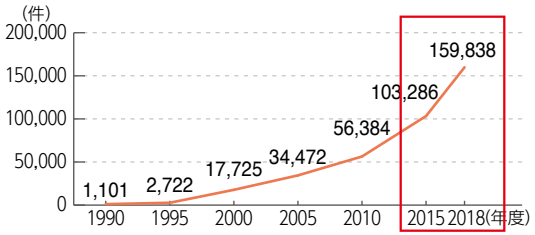
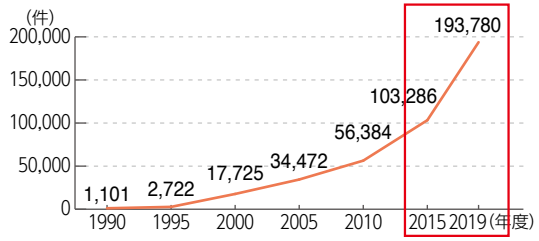
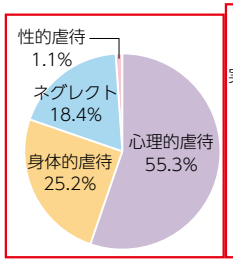
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
◉ 9	コラム	**おもな権利取得の年齢と責任** **14歳** 刑法上の責任能力が認められる **15歳** 遺言（ゆいごん）作成が可能になる **16歳** 普通自動二輪免許・原動機付自転車免許が取得できる 労働が可能になる 女性は結婚が可能になる＊ ―― 削除 **18歳** 普通自動車運転免許が取得できる 深夜労働が可能になる ―― 削除 男性は結婚が可能になる＊ ―― 削除 選挙権が認められる **20歳** 親の同意なく契約が可能（➡p.158）になる 飲酒・喫煙（きつえん）が可能になる ＊未成年の場合は親の同意が必要。 ※被選挙権（衆議院25歳，参議院30歳）など，20歳を過ぎて認められる権利もある。 ※2022年４月から改正民法施行。18歳で成人と認められるため，男女共に18歳で結婚可能となる。 ―― 削除	**おもな権利取得の年齢と責任** **14歳** 刑法上の責任能力が認められる **15歳** 遺言（ゆいごん）作成が可能になる **16歳** 普通自動二輪免許・原動機付自転車免許が取得できる 労働が可能になる **18歳** 普通自動車運転免許が取得できる 深夜労働が可能になる 結婚が可能になる 選挙権が認められる **20歳** 親の同意なく契約が可能（➡p.158）になる 飲酒・喫煙（きつえん）が可能になる ＊未成年の場合は親の同意が必要。 ※被選挙権（衆議院25歳，参議院30歳）など，20歳を過ぎて認められる権利もある。
11	図５	**5 正規，非正規雇用者の推移（25～34歳）**  ※1990～2000年は２月の数値，2005年以降は１～３月の数値。	**5 正規，非正規雇用者の推移（25～34歳）**  ※1990～2000年は２月の数値，2005年以降は１～３月の数値。

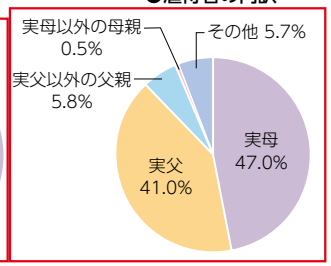
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
11	資料		
15	図 10		

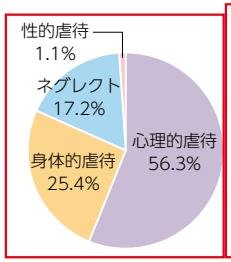
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
16	図 12	**12 育児休暇の取得率＊**  ＊調査前年度１年間の出産者（男性の場合は配偶者が出産した者）のうち，育児休業を開始した者または開始予定の申出をしている者の数。 ※2011年の数値は，岩手県，宮城県及び福島県を除く。 （厚生労働省「令和元年度雇用均等基本調査」より）	**12 育児休暇の取得率＊**  ＊調査前年度１年間の出産者（男性の場合は配偶者が出産した者）のうち，育児休業を開始した者または開始予定の申出をしている者の数。 ※2011年の数値は，岩手県，宮城県及び福島県を除く。 （厚生労働省「令和２年度雇用均等基本調査」より）
17	表 14	**14 旧民法と現行民法の比較** 明治民法（旧民法 1898年施行）／現行民法（1948年施行） 理念：「家」制度＊1／個人の尊厳 両性の本質的平等 親子：親権者は原則として父親のみ／父親と母親の共同親権 結婚：戸主の同意が必要 男17歳，女15歳から（男30, 女25まで親の同意）／男18歳，女16歳から＊3（未成年は親の同意が必要） 夫婦：嫁（よめ）は夫の姓，婿（むこ）は妻の姓 妻は法律行為に制限あり／同等の権利と義務 夫婦同姓（夫又は妻の姓） 再婚：／女性は再婚禁止期間100日 扶養：戸主に家族の扶養義務／直系血族，兄弟姉妹は互いに扶養し合う 相続：家督相続＊1（男子，嫡出（ちゃくしゅつ）子（し）＊2，年長者の順で優先）／配偶者と子が均等に相続 ＊１ ➡コラム　＊２ 婚姻関係のある男女間の子 ＊３ 2022年４月改正民法施行で男女ともに18歳から。 ― 削除	**14 旧民法と現行民法の比較** 明治民法（旧民法 1898年施行）／現行民法（1948年施行） 理念：「家」制度＊1／個人の尊厳 両性の本質的平等 親子：親権者は原則として父親のみ／父親と母親の共同親権 結婚：戸主の同意が必要 男17歳，女15歳から（男30, 女25まで親の同意）／男女共に当人の合意のみで結婚できる 夫婦：嫁（よめ）は夫の姓，婿（むこ）は妻の姓 妻は法律行為に制限あり／同等の権利と義務 夫婦同姓（夫又は妻の姓） 再婚：／女性は再婚禁止期間100日 扶養：戸主に家族の扶養義務／直系血族，兄弟姉妹は互いに扶養し合う 相続：家督相続＊1（男子，嫡出（ちゃくしゅつ）子（し）＊2，年長者の順で優先）／配偶者と子が均等に相続 ＊１ ➡コラム　＊２ 婚姻関係のある男女間の子

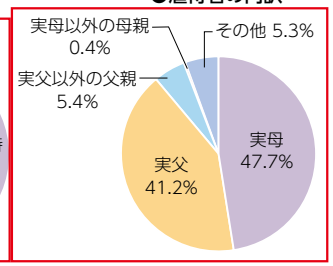
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
18	表 15	**15 民法の定める婚姻の条件** ①婚姻適齢：男性は満18歳，女性は満16歳になっていること＊2（731条） ②重婚の禁止：すでに配偶者がいる者は重ねて婚姻することはできない（732条） ③再婚禁止期間＊1の経過：女性の場合，前の婚姻の解消または取消しの日から100日を経過していること（733条） ④近親婚の禁止：直系血族または３親等内の傍系血族の間や，直系姻族の間では婚姻することができない（734，735条） ⑤父母の同意：未成年者が婚姻するときは父母の同意＊3が必要（737条） ＊1 前の婚姻の解消・取消後すぐに婚姻して，子どもが生まれた場合にどちらの子かわからなくなるのを防ぐための規定。 ＊2 2022年４月より改正民法施行。男女共に18歳に変更。 ＊3 父母の一方が同意しないときは，一方の同意で足りる。 削除 削除 削除 削除 削除	**15 民法の定める婚姻の条件** ①婚姻適齢：男女共に満18歳になっていること（731条） ②重婚の禁止：すでに配偶者がいる者は重ねて婚姻することはできない（732条） ③再婚禁止期間＊の経過：女性の場合，前の婚姻の解消または取消しの日から100日を経過していること（733条） ④近親婚の禁止：直系血族または３親等内の傍系血族の間や，直系姻族の間では婚姻することができない（734，735条） ＊前の婚姻の解消・取消後すぐに婚姻して，子どもが生まれた場合にどちらの子かわからなくなるのを防ぐための規定。
20	右上	成人（民法） 第４条（成年となる時期） 年齢20歳をもって，成年とする。＊ 削除 ＊2022年４月より改正民法施行（18歳成人） 削除	成人（民法） 第４条（成年となる時期） 年齢18歳をもって，成年とする。
35	資料２行目	平成30年にも60人（概数）の赤ちゃんが亡くなっている。	令和元年にも78人（概数）の赤ちゃんが亡くなっている。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
38	図１	**1 15歳未満の子どもの割合**  （総務省統計局「国勢調査」より） 追加	**1 15歳未満の子どもの割合**  （総務省「国勢調査」及び「人口推計」より） ※2021年は４月１日現在，その他は10月１日現在。
38	図２	**2 合計特殊出生率＊1の推移と諸外国との比較**  ＊１ひとりの女性が一生に生む子どもの平均数。 ＊２その年生まれの女性は気性が荒いという迷信のあった1966年の丙午（ひのえうま）の1.58を下回ったため，「1.57ショック」とよばれた。 （厚生労働省「人口動態統計」より）	**2 合計特殊出生率＊1の推移と諸外国との比較**  ＊１ひとりの女性が一生に生む子どもの平均数。 ＊２その年生まれの女性は気性が荒いという迷信のあった1966年の丙午（ひのえうま）の1.58を下回ったため，「1.57ショック」とよばれた。 （厚生労働省「人口動態統計」より）
40	資料右下	**● 児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移**  ＊2010年度は，東日本大震災の影響により，福島県を除いて集計した数値	**● 児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移**  ＊2010年度は，東日本大震災の影響により，福島県を除いて集計した数値

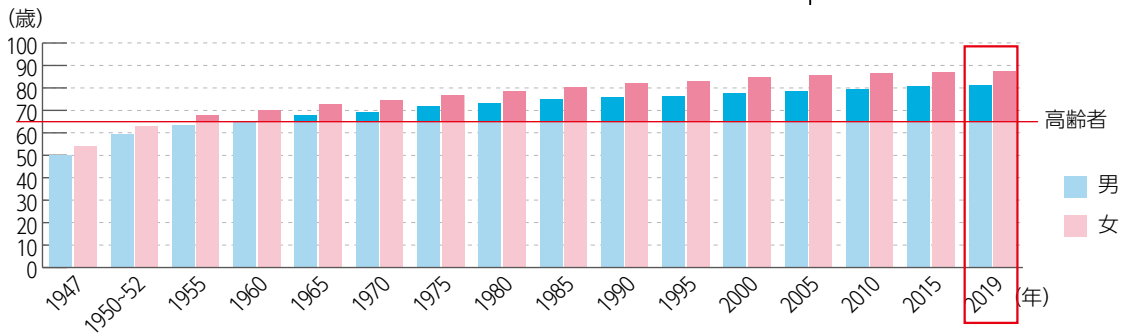
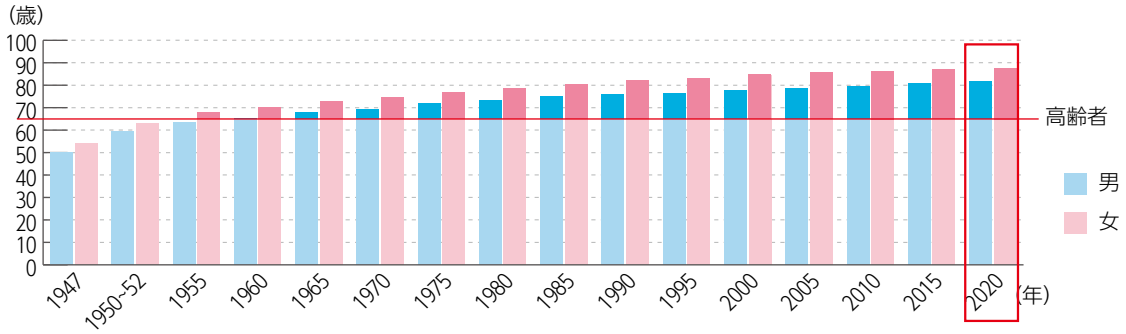
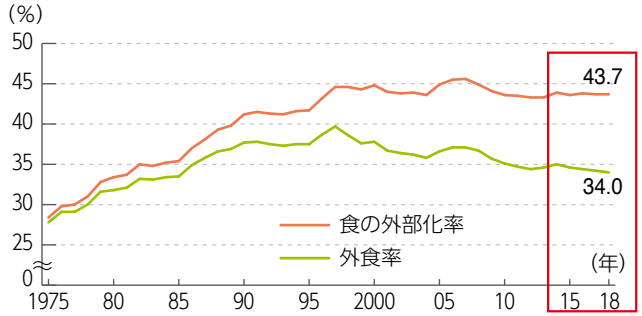
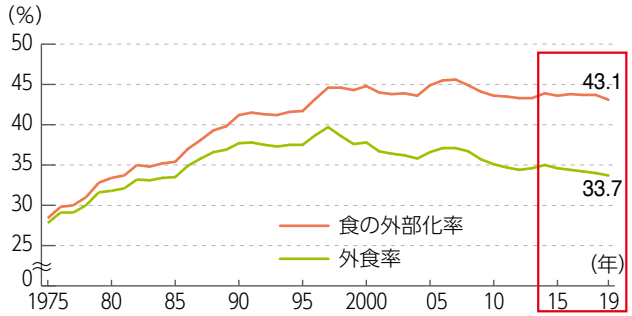
<table>
<tr><th colspan="2">訂正箇所</th><th>令和３年度教科書（旧）</th><th>令和４年度教科書（新）</th></tr>
<tr><th>ページ</th><th>行</th><th></th><th></th></tr>
<tr><td>40</td><td>資料
右上</td><td>
虐待者の内訳（2018年度）
●相談の種類


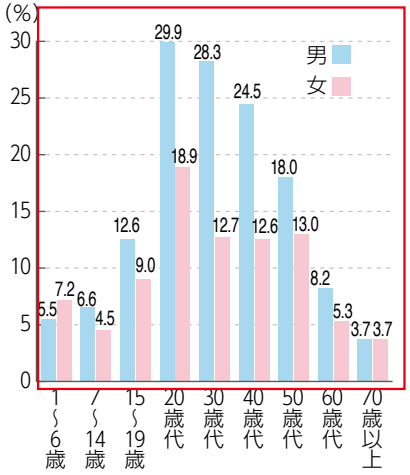
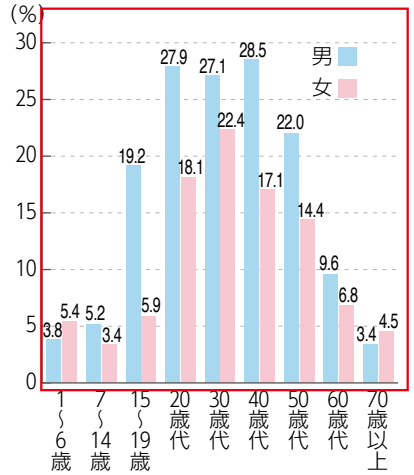
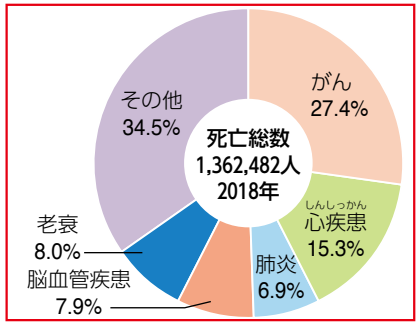
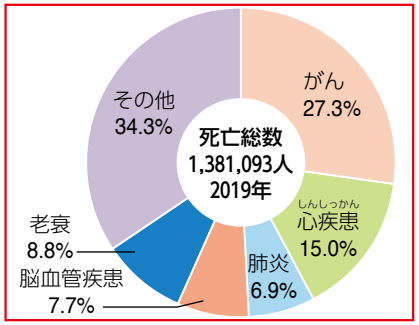
●虐待者の内訳


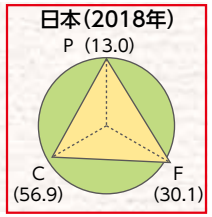
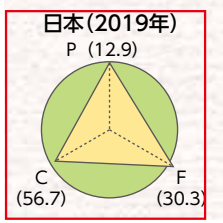
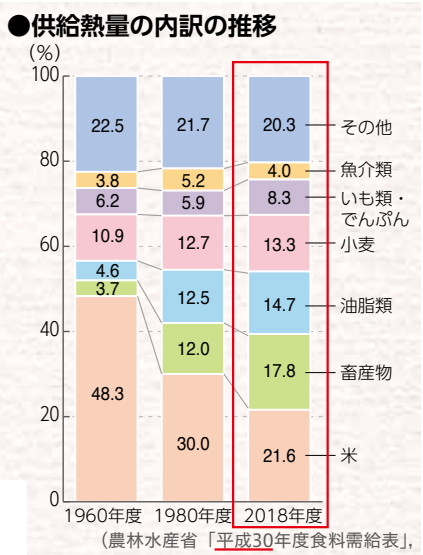
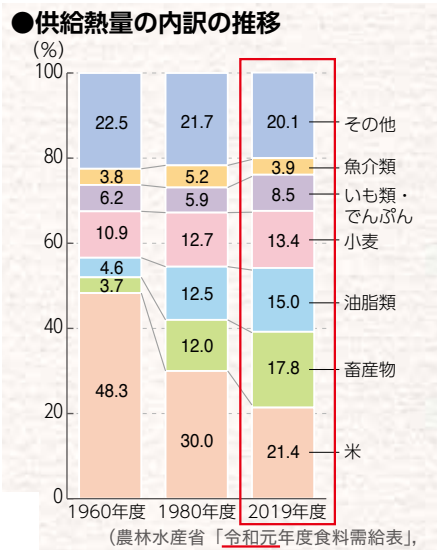
（グラフはすべて，厚生労働省「平成30年度福祉行政報告例」などより）
</td><td>
虐待者の内訳（2019年度）
●相談の種類


●虐待者の内訳


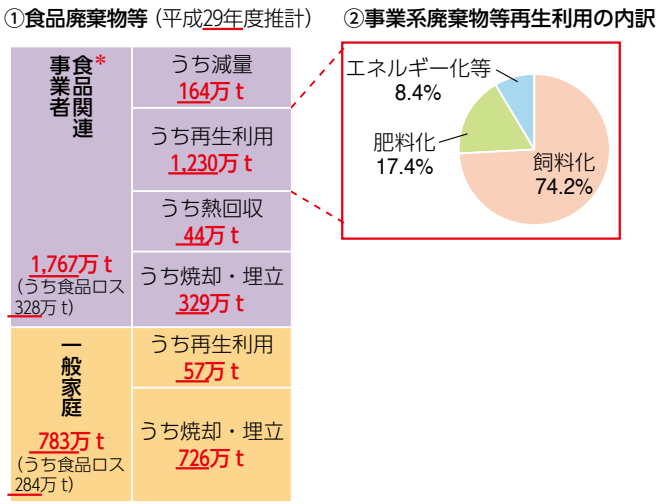
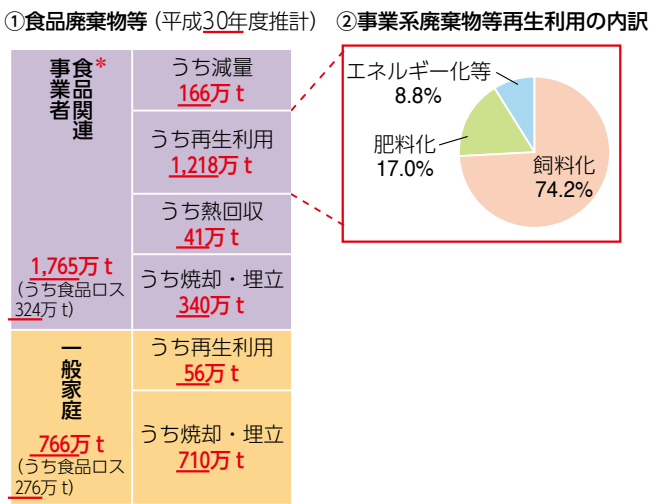
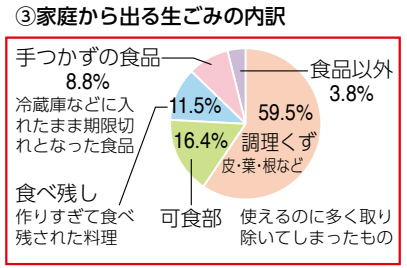
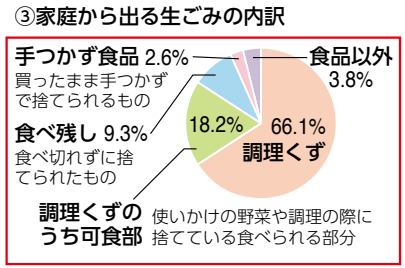
（グラフはすべて，厚生労働省「令和元年度福祉行政報告例」などより）
</td></tr>
<tr><td>48</td><td>資料Ａ
6-8
行目</td><td>2016年の報告では，日本人の平均寿命が84歳，健康寿命が75歳である。しかし，健康でない期間が９年間あることに対して，</td><td>2019年の報告では，日本人の平均寿命が84歳，健康寿命が74歳である。しかし，健康でない期間が10年間あることに対して，</td></tr>
<tr><td>48</td><td>資料Ａ
表</td><td>
諸外国の平均寿命と健康寿命（2016年）
<table>
<tr><th>国名</th><th>平均寿命</th><th>健康寿命</th><th>国名</th><th>平均寿命</th><th>健康寿命</th></tr>
<tr><td>日本</td><td>84年</td><td>75年</td><td>イギリス</td><td>81年</td><td>72年</td></tr>
<tr><td>シンガポール</td><td>83年</td><td>76年</td><td>アメリカ合衆国</td><td>79年</td><td>69年</td></tr>
<tr><td>イタリア</td><td>83年</td><td>73年</td><td>中国</td><td>76年</td><td>69年</td></tr>
<tr><td>韓国</td><td>83年</td><td>73年</td><td>タイ</td><td>76年</td><td>67年</td></tr>
<tr><td>フランス</td><td>83年</td><td>73年</td><td>インドネシア</td><td>69年</td><td>62年</td></tr>
<tr><td>スウェーデン</td><td>82年</td><td>72年</td><td>フィリピン</td><td>69年</td><td>62年</td></tr>
<tr><td>ドイツ</td><td>81年</td><td>72年</td><td>インド</td><td>69年</td><td>59年</td></tr>
</table>
（WHO「World Health Statistics 2020」より）
</td><td>
諸外国の平均寿命と健康寿命（2019年）
<table>
<tr><th>国名</th><th>平均寿命</th><th>健康寿命</th><th>国名</th><th>平均寿命</th><th>健康寿命</th></tr>
<tr><td>日本</td><td>84年</td><td>74年</td><td>イギリス</td><td>81年</td><td>70年</td></tr>
<tr><td>シンガポール</td><td>83年</td><td>74年</td><td>アメリカ合衆国</td><td>79年</td><td>66年</td></tr>
<tr><td>イタリア</td><td>83年</td><td>72年</td><td>中国</td><td>77年</td><td>69年</td></tr>
<tr><td>韓国</td><td>83年</td><td>73年</td><td>タイ</td><td>78年</td><td>68年</td></tr>
<tr><td>フランス</td><td>83年</td><td>72年</td><td>インドネシア</td><td>71年</td><td>63年</td></tr>
<tr><td>スウェーデン</td><td>82年</td><td>72年</td><td>フィリピン</td><td>70年</td><td>62年</td></tr>
<tr><td>ドイツ</td><td>82年</td><td>71年</td><td>インド</td><td>71年</td><td>60年</td></tr>
</table>
（WHO「World Health Statistics 2021」より）
</td></tr>
</table>

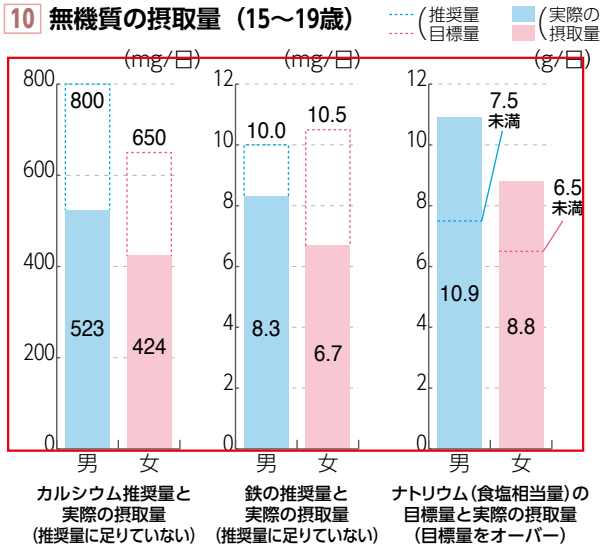
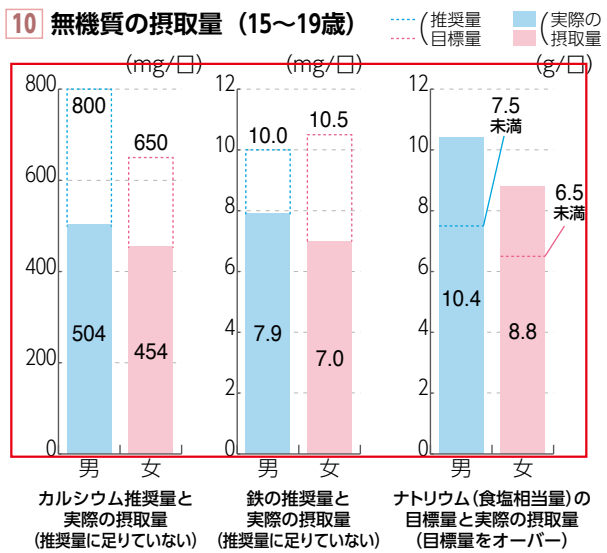
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
50	図３	 （厚生労働省「令和元年簡易生命表」より）	 （厚生労働省「令和２年簡易生命表」より）
61	図５	**5 外食率・食の外部化率の変化**  ※食の外部化率とは，外食率（食料消費支出に占める外食の割合）に中食の支出割合を加えたもの　（公益財団法人「食の安全・安心財団」資料より）	**5 外食率・食の外部化率の変化**  ※食の外部化率とは，外食率（食料消費支出に占める外食の割合）に中食の支出割合を加えたもの　（公益財団法人「食の安全・安心財団」資料より）

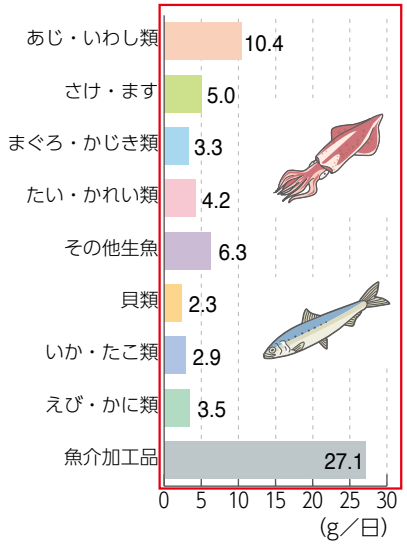
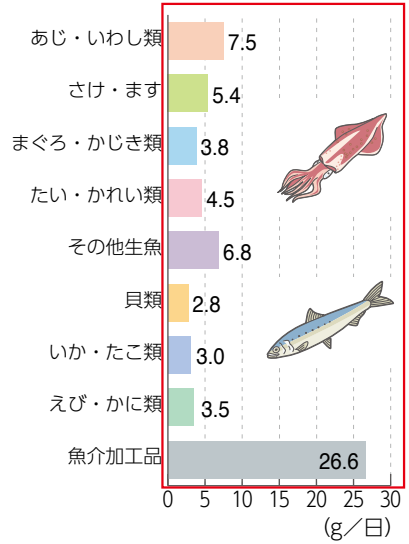
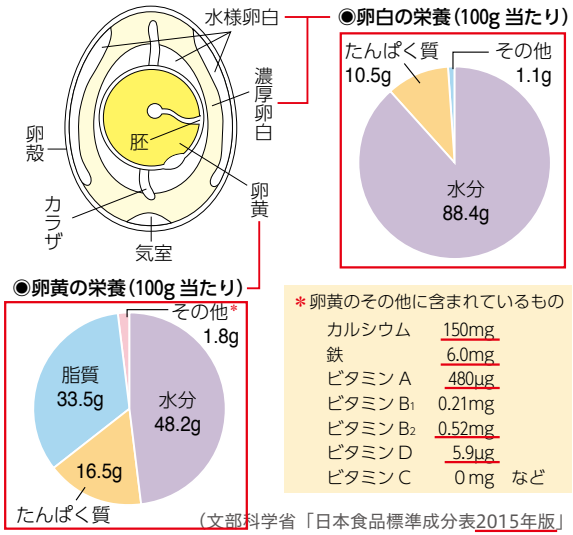
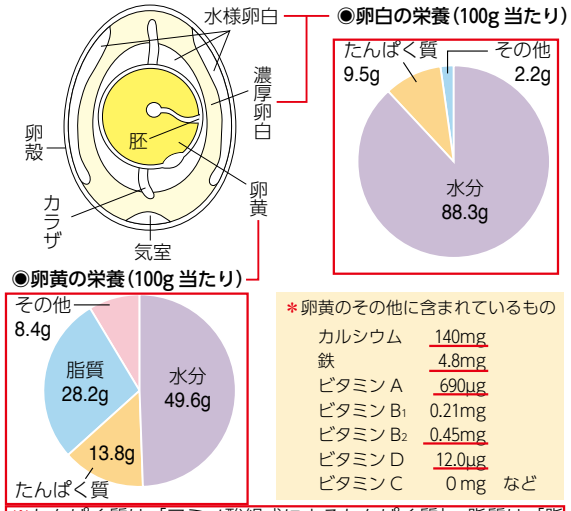
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
61	図４	**4 朝食の欠食率**  （厚生労働省「平成30年　国民健康・栄養調査」より）	**4 朝食の欠食率**  （厚生労働省「令和元年　国民健康・栄養調査」より）
62	図７	**7 死因別死亡者数の割合**  ※がん，心疾患，脳血管疾患は生活習慣病とよばれ，よくない生活習慣の積み重ねにより発症するとされる。ほかにも糖尿病，高血圧症，肥満なども生活習慣病である。ただし，これらの病気の中には遺伝性のものなどもあり，全てが生活習慣病に分類されるわけではない。 （厚生労働省「人口動態統計」より）	**7 死因別死亡者数の割合**  ※がん，心疾患，脳血管疾患は生活習慣病とよばれ，よくない生活習慣の積み重ねにより発症するとされる。ほかにも糖尿病，高血圧症，肥満なども生活習慣病である。ただし，これらの病気の中には遺伝性のものなどもあり，全てが生活習慣病に分類されるわけではない。 （厚生労働省「人口動態統計」より）

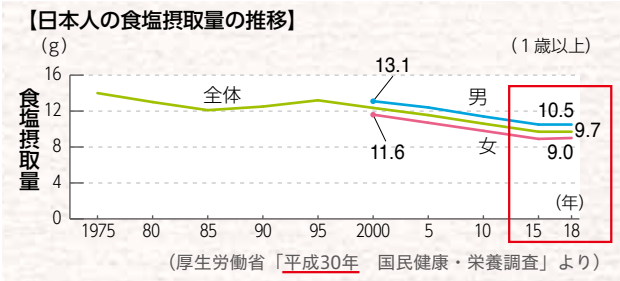
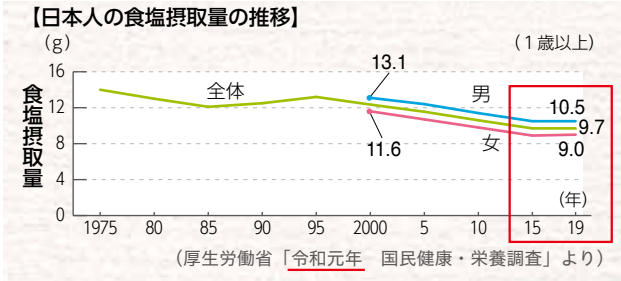
訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
62	コラム 左		
62	コラム 右		

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
63	表９	削除 **9 品目別食料自給率（重量ベース，平成29年度）** 米（主食用）100% 小麦 14% いも類 74% 大豆 ７% 野菜 79% 果実 39% 肉類 ８%* 牛乳及び乳製品26%* 魚介類（食用）55% 海藻類（かいそう） 68% 油脂類 12% きのこ類 88% ＊肉類，牛乳及び乳製品は飼料自給率を考慮した数値	**9 品目別食料自給率（重量ベース，2019年度）** 米 97% 小麦 16% いも類 73% 大豆 ６% 野菜 79% 果実 38% 肉類 ７%* 牛乳及び乳製品25%* 魚介類（食用）56% 海藻類（かいそう） 65% 油脂類 13% きのこ類 88% ＊肉類，牛乳及び乳製品は飼料自給率を考慮した数値
64	図 12	ルギー」，12は「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」より）	ルギー」，12は「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
65	資料①②	 （①②は農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（平成29年度推計）」，	 （①②は農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（平成30年度推計）」，
65	資料③	 ③は松本市「平成28年度松本市食品ロス調査」，	 ③は松本市「令和元年度松本市一般廃棄物組成・食品ロス調査」，

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
69	資料 右上	ご飯だけのアミノ酸価（米（水稲めし／精白米）） 成人の場合 93（リシン） 15～17歳の場合 89（リシン） ※アミノ酸価は「日本食品標準成分表2015年版（七訂）アミノ酸成分表編」第３表アミノ酸組成によるたんぱく質１ｇあたりのアミノ酸量と「アミノ酸評点パターン（2007年）」を使って計算している。	ご飯だけのアミノ酸価（米（水稲めし／精白米）） 成人の場合 91（リシン） 15～17歳の場合 87（リシン） ※アミノ酸価は「日本食品標準成分表2020年版（八訂）アミノ酸成分表編」第３表アミノ酸組成によるたんぱく質１ｇあたりのアミノ酸量と「アミノ酸評点パターン（2007年）」を使って計算している。
70	図 10	 ※「推奨量」「目標量」は「日本人の食事摂取基準（2020年版）」より，「摂取量」は「平成30年　国民健康・栄養調査」より作成。鉄の推奨量（女）は月経ありの場合の数値。鉄の推奨量は15～17歳の値。	 ※「推奨量」「目標量」は「日本人の食事摂取基準（2020年版）」より，「摂取量」は「令和元年　国民健康・栄養調査」より作成。鉄の推奨量（女）は月経ありの場合の数値。鉄の推奨量は15～17歳の値。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
74	図 19	**19 魚介類の摂取量**  （厚生労働省「平成30年　国民健康・栄養調査」より）	**19 魚介類の摂取量**  （厚生労働省「令和元年　国民健康・栄養調査」より）
75	図 22	**22 卵の構造と栄養**  ＊卵黄のその他に含まれているもの カルシウム 150mg 鉄 6.0mg ビタミン A 480μg ビタミン B_1 0.21mg ビタミン B_2 0.52mg ビタミン D 5.9μg ビタミン C 0mg　など （文部科学省「日本食品標準成分表2015年版」（七訂）より）	**22 卵の構造と栄養**  ＊卵黄のその他に含まれているもの カルシウム 140mg 鉄 4.8mg ビタミン A 690μg ビタミン B_1 0.21mg ビタミン B_2 0.45mg ビタミン D 12.0μg ビタミン C 0mg　など ※たんぱく質は「アミノ酸組成によるたんぱく質」，脂質は「脂肪酸のトリアシルグリセロール当量」の数値を用いている。 （文部科学省「日本食品標準成分表2020年版」（八訂）より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
77	表 26 下	皮つき エネルギー 39kcal β-カロテン当量 8,600μg ビタミン B1 0.07mg 食物繊維 2.8g 皮むき エネルギー 36kcal β-カロテン当量 8,300μg ビタミン B1 0.07mg 食物繊維 2.4g （文部科学省「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」より）	皮つき エネルギー 35kcal β-カロテン当量 8,600μg ビタミン B1 0.07mg 食物繊維 2.8g 皮むき エネルギー 30kcal β-カロテン当量 8,300μg ビタミン B1 0.07mg 食物繊維 2.4g （文部科学省「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」より）
78	コラム 3行目	2012年の摂取量を見ると，各年代とも，「日本人の食事摂取基準2015」	2019年の摂取量を見ると，各年代とも，「日本人の食事摂取基準2020」
78	コラム 図	 （厚生労働省「平成30年　国民健康・栄養調査」より）	 （厚生労働省「令和元年　国民健康・栄養調査」より）
88	9-10	日常よく食べている食品の栄養価を調べるには，「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」❷を用いるとよい。	日常よく食べている食品の栄養価を調べるには，「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」❷を用いるとよい。
88	側注②	❷「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」には，2,191食品の成分が示されている。栄養価は，骨や皮など食べることのできない部分を除いた，可食部100g当たりの成分である。	❷「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」には，2,478食品の成分が示されている。栄養価は，骨や皮など食べることのできない部分を除いた，可食部100g当たりの成分である。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）
90	下表	

４つの食品群による摂取量のめやす　（１人１日当たりの重量＝g）

（香川明夫監修）

身体活動レベル	食品群	第１群				第２群				第３群						第４群					
	年齢（歳）	乳・乳製品		卵		魚介・肉		豆・豆製品		野菜		いも		くだもの		穀類		油脂		砂糖	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体活動レベルⅠ（低い）	12～14	380	380	50	50	150	120	80	80	350	350	100	100	200	200	320	280	20	20	10	10
	15～17	320	320	50	50	150	120	80	80	350	350	100	100	200	200	370	260	25	20	10	10
	18～29	300	250	50	50	180	100	80	80	350	350	100	100	200	200	330	220	20	15	10	10
	30～49	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	330	230	20	15	10	10
	50～64	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	320	210	20	15	10	10
	65～74	250	250	50	50	120	100	80	80	350	350	100	100	200	200	300	180	15	10	10	10
	75以上	250	200	50	50	120	80	80	80	350	350	100	100	200	200	240	170	15	10	10	5
	妊婦		250		50		150		80		350		100		200		320		20		10
	授乳婦		250		50		120		80		350		100		200		290		20		10
身体活動レベルⅡ（ふつう）	12～14	380	380	50	50	170	120	80	80	350	350	100	100	200	200	380	360	25	20	10	10
	15～17	320	320	50	50	200	120	80	80	350	350	100	100	200	200	430	350	30	20	10	10
	18～29	300	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	390	290	30	15	10	10
	30～49	250	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	400	300	30	15	10	10
	50～64	250	250	50	50	180	120	80	80	350	350	100	100	200	200	390	280	25	15	10	10
	65～74	250	250	50	50	170	120	80	80	350	350	100	100	200	200	360	250	20	15	10	10
	75以上	250	250	50	50	150	100	80	80	350	350	100	100	200	200	310	210	15	15	10	10
	妊婦後期		250		50		170		80		350		100		200		370		25		10
	授乳婦		250		50		170		80		350		100		200		350		20		10
身体活動レベルⅢ（高い）	12～14	380	380	50	50	200	170	80	80	350	350	100	100	200	200	450	400	25	25	10	10
	15～17	380	320	50	50	200	170	120	80	350	350	100	100	200	200	490	380	30	20	10	10
	18～29	380	300	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	360	30	20	10	10
	30～49	380	250	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	360	30	20	10	10
	50～64	320	250	50	50	200	150	120	80	350	350	100	100	200	200	470	320	25	20	10	10
	65～74	320	250	50	50	200	120	80	80	350	350	100	100	200	200	440	310	25	15	10	10
	授乳婦		320		50		170		80		350		100		200		420		25		10

①野菜はきのこ，海藻を含む。また，野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。②エネルギー量は，「日本人の食事摂取基準（2020年版）」の参考表・推定エネルギー必要量の約93～97％の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調節すること。③食品構成は「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」で計算。④妊婦においては，この表では妊娠後期の数値を掲載した。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和４年度教科書（新）
90	下表	

４つの食品群による摂取量のめやす　（１人１日当たりの重量＝ g）

（香川明夫監修）

身体活動レベル	食品群	第１群				第２群				第３群						第４群					
		乳・乳製品		卵		魚介・肉		豆・豆製品		野菜		芋		果物		穀類		油脂		砂糖	
	年齢（歳）	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体活動レベルⅠ（低い）	12 ～ 14	380	380	55	55	150	120	80	80	350	350	100	100	150	150	360	310	20	20	10	10
	15 ～ 17	320	320	55	55	150	120	80	80	350	350	100	100	150	150	420	300	25	20	10	10
	18 ～ 29	300	250	55	55	180	100	80	80	350	350	100	100	150	150	370	240	20	15	10	10
	30 ～ 49	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	370	250	20	15	10	10
	50 ～ 64	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	360	230	20	15	10	10
	65 ～ 74	250	250	55	55	120	100	80	80	350	350	100	100	150	150	340	200	15	10	10	10
	75以上	250	200	55	55	120	80	80	80	350	350	100	100	150	150	270	190	15	10	10	5
	妊婦		250		55		150		80		350		100		150		360		20		10
	授乳婦		250		55		120		80		350		100		150		330		20		10
身体活動レベルⅡ（ふつう）	12 ～ 14	380	380	55	55	170	120	80	80	350	350	100	100	150	150	430	390	25	20	10	10
	15 ～ 17	320	320	55	55	200	120	80	80	350	350	100	100	150	150	480	380	30	20	10	10
	18 ～ 29	300	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	440	320	30	15	10	10
	30 ～ 49	250	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	450	330	30	15	10	10
	50 ～ 64	250	250	55	55	180	120	80	80	350	350	100	100	150	150	440	300	25	15	10	10
	65 ～ 74	250	250	55	55	170	120	80	80	350	350	100	100	150	150	400	280	20	15	10	10
	75以上	250	250	55	55	150	100	80	80	350	350	100	100	150	150	340	230	15	15	10	10
	妊婦後期		250		55		180		80		350		100		150		420		25		10
	授乳婦		320		55		180		80		350		100		150		380		20		10
身体活動レベルⅢ（高い）	12 ～ 14	380	380	55	55	200	170	80	80	350	350	100	100	150	150	510	450	25	25	10	10
	15 ～ 17	380	320	55	55	200	170	120	80	350	350	100	100	150	150	550	430	30	20	10	10
	18 ～ 29	380	300	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	390	30	20	10	10
	30 ～ 49	380	250	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	390	30	20	10	10
	50 ～ 64	320	250	55	55	200	150	120	80	350	350	100	100	150	150	530	360	25	20	10	10
	65 ～ 74	320	250	55	55	200	130	80	80	350	350	100	100	150	150	480	340	25	15	10	10
	授乳婦		320		55		170		80		350		100		150		470		25		10

①野菜はきのこ，海藻を含む。また，野菜の1/3以上は緑黄色野菜でとることとする。②エネルギー量は，「日本人の食事摂取基準（2020年版）」の参考表・推定エネルギー必要量の約93～97％の割合で構成してある。各人の必要に応じて適宜調節すること。③食品構成は「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」で計算。④妊婦においては，この表では妊娠後期の数値を掲載した。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）
91	TRY 表	

	献立	材料	g	食品群 第１群 乳 乳製品	第１群 卵	第２群 魚介 肉	第２群 豆 豆製品	第３群 野菜	第３群 いも	第３群 くだもの	第４群 穀類	第４群 油脂	第４群 砂糖
朝食	チーズトースト	食パン	100								100		
		チーズ	40	40									
	目玉焼き	鶏卵	50		50								
		サラダ油	4									4	
	サラダ	レタス	30					30					
		きゅうり	20					20					
		赤ピーマン	20					20					
		にんじん	20					20					
		ドレッシング＊1	4									3	
	フルーツヨーグルト	ヨーグルト	80	80									
		りんご	100							100			
昼食	いかとトマトのスパゲッティ	スパゲッティ	100								100		
		いか	60			60							
		トマト	80					80					
		オリーブオイル	5									5	
	豆乳スープ	豆乳	60				60						
		ベーコン	10			10							
		たまねぎ	30					30					
		じゃがいも	50						50				
	フルーツ	キウイフルーツ	50							50			
		りんご	50							50			
間食	さつまいも白玉	さつまいも	50						50				
		白玉粉	20								20		
		砂糖	6										6
	抹茶ミルク	牛乳	200	200									
		抹茶（粉末）	2										
		砂糖	4										4
夕食	飯	米	130								130		
	豆腐のみそ汁	豆腐	20				20						
		わかめ（乾）＊2	1					10					
	ハンバーグ	ハンバーグ	50			50							
		プチトマト	30					30					
		レタス	20					20					
	きのことほうれん草のソテー	しめじ	20					20					
		ほうれん草	50					50					
		パプリカ	20					20					
		バター	8									8	
合計				320	50	120	80	350	100	200	350	20	10
身体活動レベルⅡ15-17歳女子めやす量				320	50	120	80	350	100	200	350	20	10
身体活動レベルⅡ15-17歳男子めやす量				320	50	200	80	350	100	200	430	30	10

＊1　含有量として表記する。　＊2　戻し率10倍。

【男子の献立変更例】

穀類を80g，魚介・肉を80g，油脂を10g それぞれ増やす。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和4年度教科書（新）
91	TRY 表	

	献立	材料	g	食品群 第1群 乳 乳製品	第1群 卵	第2群 魚介 肉	第2群 豆 豆製品	第3群 野菜	第3群 芋	第3群 果物	第4群 穀類	第4群 油脂	第4群 砂糖
朝食	チーズトースト	食パン	120								120		
		チーズ	40	40									
	目玉焼き	鶏卵	55		55								
		サラダ油	4									4	
	サラダ	レタス	30					30					
		きゅうり	20					20					
		赤ピーマン	20					20					
		にんじん	20					20					
		ドレッシング＊1	4									3	
	フルーツヨーグルト	ヨーグルト	80	80									
		りんご	50							50			
昼食	いかとトマトのスパゲッティ	スパゲッティ	100								100		
		いか	60			60							
		トマト	80					80					
		オリーブオイル	5									5	
	豆乳スープ	豆乳	60				60						
		ベーコン	10			10							
		たまねぎ	30					30					
		じゃがいも	50						50				
	フルーツ	キウイフルーツ	50							50			
		りんご	50							50			
間食	さつまいも白玉	さつまいも	50						50				
		白玉粉	30								30		
		砂糖	6										6
	抹茶ミルク	牛乳	200	200									
		抹茶（粉末）	2										
		砂糖	4										4
夕食	飯	米	130								130		
	豆腐のみそ汁	豆腐	20				20						
		わかめ（乾）＊2	1					10					
	ハンバーグ	ハンバーグ	50			50							
		プチトマト	30					30					
		レタス	20					20					
	きのことほうれん草のソテー	しめじ	20					20					
		ほうれん草	50					50					
		パプリカ	20					20					
		バター	8									8	
合計				320	55	120	80	350	100	150	380	20	10
身体活動レベルⅡ15-17歳女子めやす量				320	55	120	80	350	100	150	380	20	10
身体活動レベルⅡ15-17歳男子めやす量				320	55	200	80	350	100	150	480	30	10

＊1 含有量として表記する。　＊2 戻し率10倍。

【男子の献立変更例】

穀類を100g，魚介・肉を80g，油脂を10g それぞれ増やす。

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
94	下囲み計量		

令和３年度教科書（旧）

	小さじ（5 mL）	大さじ（15mL）	カップ（200mL）
パン粉（乾燥）	1g	3g	40g
トマトケチャップ	5g	15g	230g
牛乳	5g	15g	210g
粉ゼラチン	3g	9g	130g
マヨネーズ	4g	12g	190g
油・バター	4g	12g	180g
精白米	–	–	170g

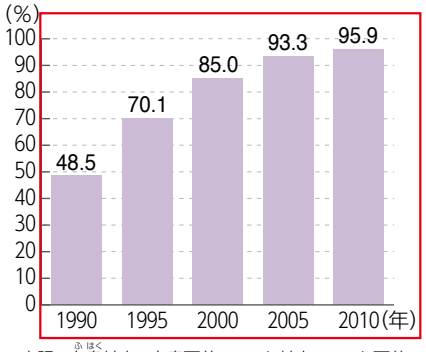
令和４年度教科書（新）

	小さじ（5 mL）	大さじ（15mL）	カップ（200mL）
パン粉（乾燥）	1g	3g	40g
トマトケチャップ	6g	18g	240g
牛乳	5g	15g	210g
粉ゼラチン	3g	9g	–
マヨネーズ	4g	12g	190g
油・バター	4g	12g	180g
精白米	–	–	170g

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
130	図１		

令和３年度教科書（旧）

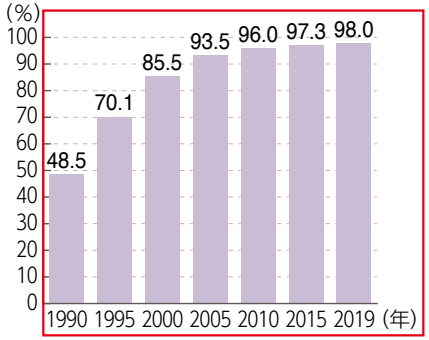
1 衣服*の輸入浸透度



*衣服＝布帛（ふはく）外衣＋布帛下着＋ニット外衣＋ニット下着
輸入浸透度＝輸入量÷(生産量＋輸入量－輸出量)×100

令和４年度教科書（新）

1 衣服*の輸入浸透度

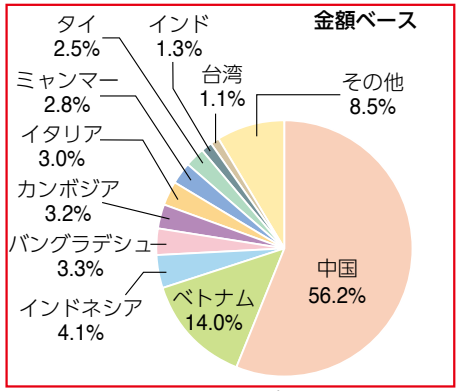


*衣服＝布帛（ふはく）外衣＋布帛下着＋ニット外衣＋ニット下着
輸入浸透度＝輸入量÷(生産量＋輸入量－輸出量)×100

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
130	図２		

令和３年度教科書（旧）

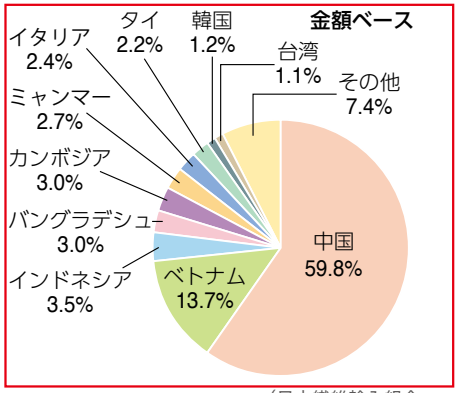
2 繊維製品輸入相手国（2019年）



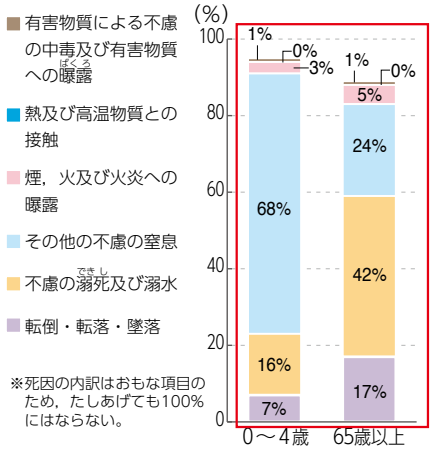
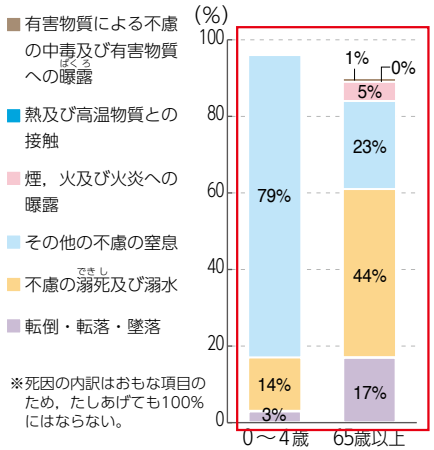
（日本繊維輸入組合
「繊維製品・主要国別輸入の推移」より）

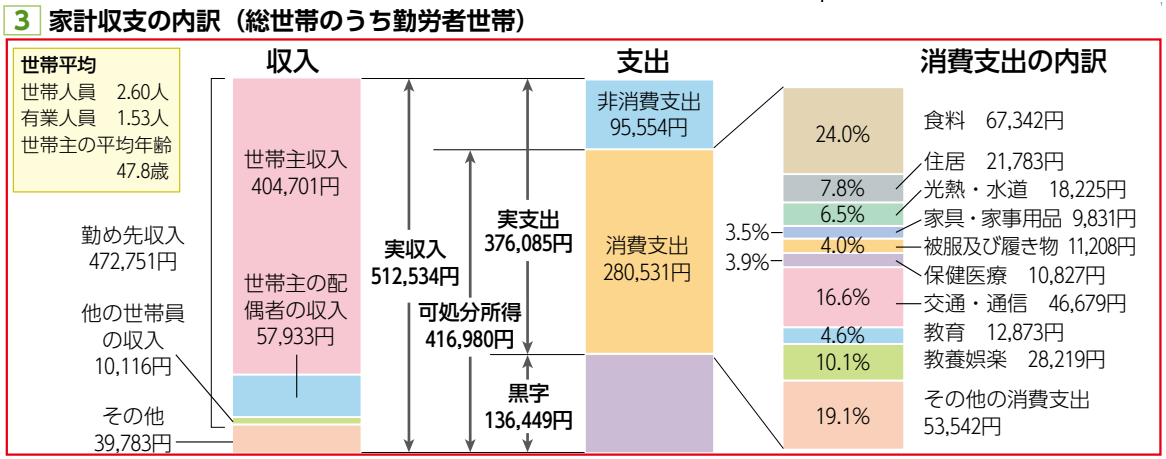
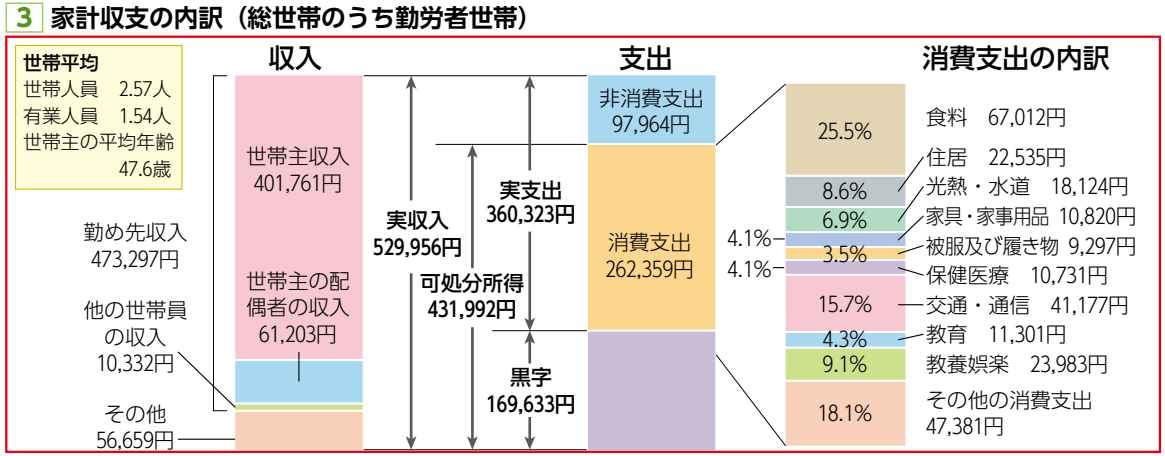
令和４年度教科書（新）

2 繊維製品輸入相手国（2020年）



（日本繊維輸入組合
「繊維製品・主要国別輸入の推移」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
140	図６	**6 家庭内事故による乳幼児・高齢者の年間死亡者のおもな原因別割合**  （厚生労働省「平成30年人口動態統計」より）	**6 家庭内事故による乳幼児・高齢者の年間死亡者のおもな原因別割合**  （厚生労働省「令和元年人口動態統計」より）
159	表２	**2 相談件数の多かった商品・サービス（2018年度）** 順位 / 商品．サービス / 件数 1 商品一般 227,605 2 デジタルコンテンツその他 74,354 3 健康食品 32,735 4 インターネット接続回線 32,673 5 賃貸アパート・マンション 32,342 6 フリーローン・サラ金 25,108 7 移動通信サービス 23,595 8 化粧品 20,225 9 アダルト情報サイト 18,695 10 相談その他 14,182 ※全国の消費生活センターが受け付けた消費者相談の総件数は2018年度で99万件以上に上り，内容は，契約にかかわるトラブルや商品の品質や安全にかかわるものなど，多岐にわたる。 （国民生活センター「消費生活年報2019」より）	**2 相談件数の多かった商品・サービス（2019年度）** 順位 / 商品．サービス / 件数 1 商品一般 139,077 2 健康食品 54,399 3 デジタルコンテンツその他 49,733 4 化粧品 34,373 5 インターネット接続回線 33,759 6 賃貸アパート・マンション 31,272 7 移動通信サービス 25,296 8 フリーローン・サラ金 21,919 9 他の役務サービス 18,111 10 相談その他 14,088 ※全国の消費生活センターが受け付けた消費者相談の総件数は2019年度で93万件以上に上り，内容は，契約にかかわるトラブルや商品の品質や安全にかかわるものなど，多岐にわたる。 （国民生活センター「消費生活年報2020」より）

訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	令和３年度教科書（旧）	令和４年度教科書（新）
167	図３	 （総務省統計局「令和元年 家計調査報告」より）	 （総務省統計局「令和２年 家計調査報告」より）